

「里山再生モデル事業」事業計画
(二本松市：観音丘陵遊歩道周辺)

平成 2 8 年 1 2 月 2 2 日
復 興 庁
農 林 水 産 省
環 境 省

1. 本事業の目的

市の中心部に位置する観音丘陵遊歩道周辺の森林の除染や、間伐等の森林整備を行うとともに、空間線量等測定により放射性物質等の状況を把握し、遊歩道の利用者と地域住民の安心・安全に向けた環境づくりを目指す。

また、本事業の成果について、原子力災害を受けた里山の再生に寄与するものとする。

【現 状】

- モデル地区は、市街地にある観音丘陵に沿って遊歩道が東西に整備され、市民の散策など休養の場として利用されている。
- 遊歩道にはサイクリングロードが併設され、霞ヶ城址や箕輪門を眺望できるビューポイントもあり、市の重要な観光資源にもなっている。
- 隣接地には、二本松南小学校や二本松市民会館などの教育・文化施設のほか、多くの住宅地が存在しており、遊歩道の利用者の地域住民の安心・安全の確保が課題となっている。
- 二本松市は、平成 2 4 年 1 月に「二本松市復興計画」を策定し、復興に向けた主要施策の柱 1 つ「安心・安全のまちづくり」の中で、市内全域の環境回復を図るために徹底した除染に取り組む方針を定め、復旧・復興の取組を進めている。

2. モデル地区の概要

位 置：二本松市竹田一丁目地内 ほか 観音丘陵遊歩道周辺
区域面積：約 5 4 h a うち森林約 2 3 h a （民有林（私有林））
利用の方向：市民の休養の場としての利用を促進する。

3. 事業実施期間

平成28～31年度

4. 事業実施主体

二本松市

5. 事業内容

本事業は、以下の各事業を組み合わせる実施することとする。

(1) 観音丘陵遊歩道周辺の除染

観音丘陵遊歩道において、福島県民健康管理基金（除染対策事業交付金）を活用し、除染を実施する。

除染の範囲及び手法は、同遊歩道内の堆積物除去、敷砂利の洗浄を基本に、具体的な除染の実施箇所・手法については、より詳細な調査を踏まえて決定する。

また、森林整備で発生する竹チップを歩道の原状回復に活用する。

(2) 間伐等の森林整備

ふくしま森林再生事業を活用し、間伐等の森林整備を実施する。具体的な森林整備の内容や実施区域は、森林の状況等詳細な調査を実施した上で決定する。伐採木は搬出して利用することを基本とする。

(3) 線量マップの作成など各種線量測定

福島再生加速化交付金（帰還環境整備）「個人線量管理・線量低減活動支援事業」（内閣府）を活用し、当該モデル地区の線量マップを作成する。

6. 事業工程（予定）

下記の事業工程（予定）で各事業を進めていく。

事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
除染	詳細調査・ 除染範囲決定 →	除染等の実施 →	事後の線量 測定等 →	事後の線量 測定等 → 効果の検証・ 取りまとめ →
森林 整備	詳細調査 →	森林整備等の実施 →	→	→ 取りまとめ →
線量 測定	事業内容の 調整・決定 →	測定、 マップ作成等 →	→	測定、 マップ作成等 → 取りまとめ →



二本松市 位置図

至 福島市
東北自動車

至 福島市
国道4号線

二本松市役所

東北自動車道

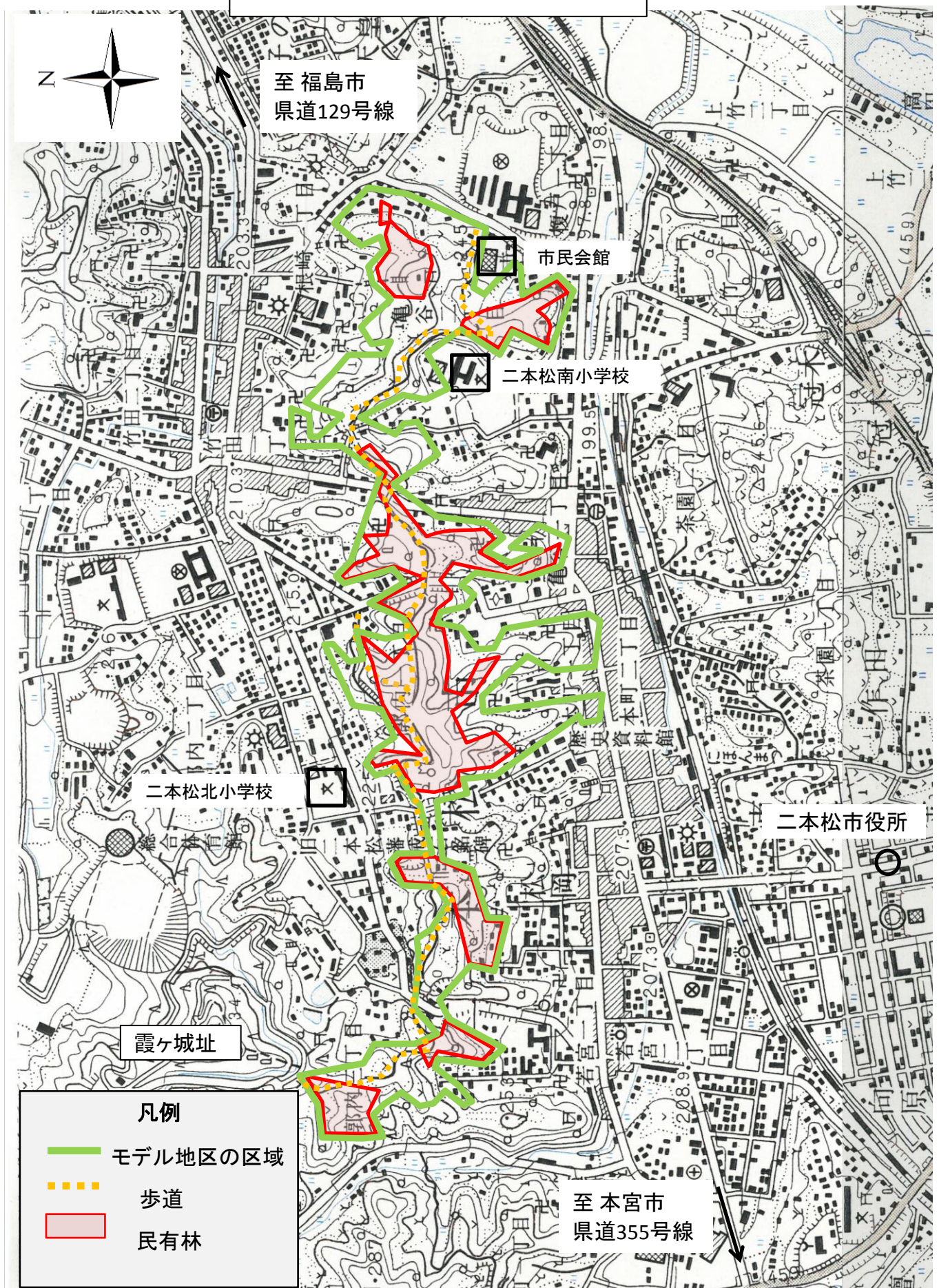
国道4号線

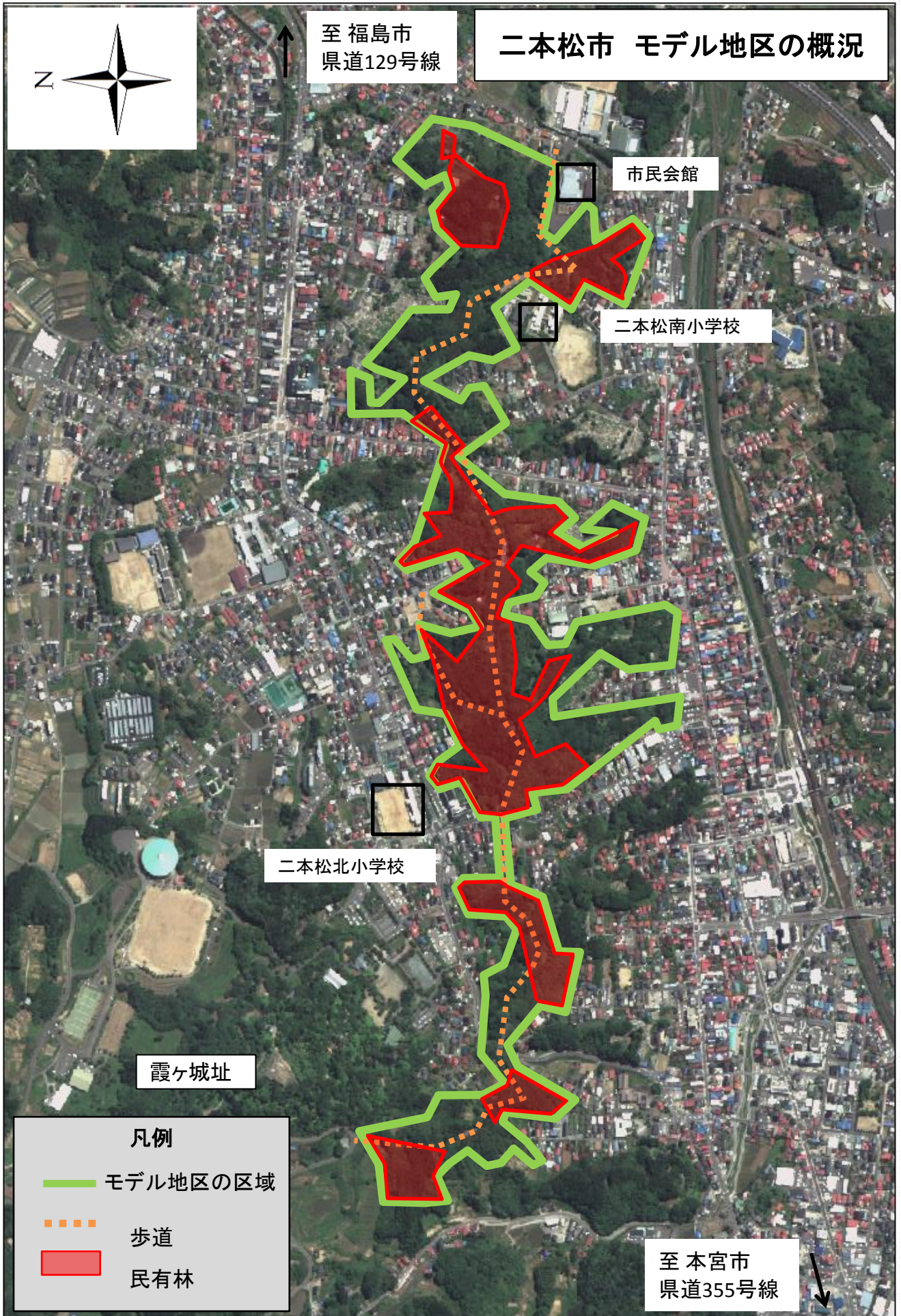
至 郡山市

至 浪江町
国道459号線

1:37,000

二本松市 モデル地区の概況





モデル地区写真資料
(二本松市：観音丘陵遊歩道周辺)

(写真1：遊歩道の状況)



(写真2：景観上問題がある部分)



(写真 3 : 人工林の状況)



(写真 4 : 竹林の状況)

